

研修会内容(平成25年度)

○会員研修プログラム

開催自治体:福島県只見町

ー8月1日 1日目(会員研修)ー

1. 「東日本大震災における南相馬市の広域避難の実態と課題」
福島県南相馬市復興企画部危機管理課 課長補佐 佐藤 克巳 氏
2. 「神戸市における受援計画の策定」
兵庫県神戸市危機管理室 総務担当課長 大崎 克英 氏
3. 「平成23年7月新潟・福島豪雨の災害対応」
被災自治体と参加者による検討会・質疑応答
被災自治体 福島県只見町 町長 目黒 吉久 氏
新潟県三条市総務部行政課 主査 石塚 衛 氏
進行 常葉大学社会環境学部 教授 田中 聡 氏

ー8月2日 2日目(公開プログラム)ー

4. パネルディスカッション テーマ:「元気」が支える地域の再建
パネリスト
岩手県釜石観光ボランティアガイド会顧問 柏崎龍太郎 氏
宮城県気仙沼市 (有)オイカワデニム代表取締役 及川 秀子 氏
宮城県名取市 元関上保育所所長 佐竹 悦子 氏
福島県只見町 黒谷区長 菅家 達朗 氏
福島県只見町 季の郷 湯ら里 支配人 目黒 典子 氏
コーディネーター
常葉大学社会環境学部 教授 重川希志依 氏

参加者数

・1日目:21団体29名
(内、非会員自治体1団体3名)

・2日目:20団体28名
(内、非会員自治体1団体3名)
只見町民 20名



開会の挨拶をする丸山会長



歓迎の挨拶をする目黒 只見町長

会員研修

1. 「東日本大震災時における 南相馬市の広域避難の実態と課題」

■ 福島県南相馬市復興企画部危機管理課 課長補佐 佐藤 克巳 氏

東日本大震災で震度6の地震に見舞われ、地震と津波による甚大な被害と、福島第一原子力発電所の事故により複合的な災害を受け、市民の市外への避難を余儀なくされた南相馬市の被災の実態と、今なお続く広域避難から復興へむけての取組や課題について説明いただきました。



2. 「神戸市における受援計画の策定」

■ 兵庫県神戸市危機管理室総務担当課長 大崎 克英 氏

神戸市の阪神淡路大震災での教訓や、東日本大震災における広域支援での経験をもとに、災害時に発生する膨大で多様な業務に対応する際に、円滑に支援を受けるために作成した受援計画の作成過程や内容について説明いただきました。



3. 「平成23年7月新潟・福島豪雨の災害対応」

■ 被災自治体と参加者による検討会・質疑応答

■ 被災自治体 福島県只見町長 目黒 吉久 氏
新潟県三条市総務部行政課 主査 石塚 衛 氏
進行 常葉大学社会環境学部 教授 田中 聡 氏

只見町での観測史上最大の24時間雨量527ミリを記録した新潟・福島豪雨での災害対応状況と、平成16年の新潟豪雨の教訓からソフト・ハードの両面で災害対応に取り組んできた三条市での事例を説明いただき、参加自治体との意見交換を行いました。



〔只見町長 目黒氏〕



〔三条市 石塚氏〕

公開プログラム

4. パネルディスカッション

テーマ 「元気」が支える地域の再建

パネリスト	岩手県釜石観光ボランティアガイド会顧問	柏崎龍太郎 氏
	宮城県気仙沼市 (有)オイカワデニム代表取締役	及川 秀子 氏
	宮城県名取市 元閑上保育所所長	佐竹 悦子 氏
	福島県只見町 黒谷区長	菅家 達朗 氏
	福島県只見町 季の郷 湯ら里 支配人	目黒 典子 氏
コーディネーター	常葉大学社会環境学部 教授	重川希志依 氏

平成23年に発生した東日本大震災と新潟・福島豪雨。甚大な被害をもたらした災害の中、被災時にどうやってお互い助け合い生き延びてきたのか、その後の、地域や暮らしあるいは仕事を含めた再建に向けての取組や活動における努力について、被災したにもかかわらず地域の再建に尽力されている、それぞれの地域の方々の話をいただきました。

パネリストの熱意あるお話から、災害から再建しようとする大きなエネルギーの原動力を、多くの傍聴者の方々は感じ取られていました。

4. パネルディスカッション

テーマ 「元気」が支える地域の再建

〔パネルディスカッションの様子〕



〔佐竹悦子氏〕

津波に遭遇するも、一人の園児の命も亡くすことのなかった秘訣や、津波被災者への支援についてお話しいただきました。



〔及川秀子氏〕

津波により、高台移転した工場での地域の方との避難生活や、そこで始めた会社・地域の再建についてお話しいただきました。



〔柏崎龍太郎氏〕

甚大な津波被害からの住宅再建のため住民の意見をまとめ、地域の復興のために取り組んでいる様々な活動についてご紹介いただきました。



〔菅家達朗氏〕

豪雨災害により、突然の区長代理という任務にもかかわらず、地域のためリーダーシップを発揮された経験についてお話しいただきました。



〔目黒典子氏〕

NPOの一員として、中越地震、東日本大震災へのボランティア支援の経験や、豪雨災害での被災経験についてお話しいただきました。



パネラーの話をお聴きのみなさんは熱心に聞いておられました。